

(参考)

地球温暖化とは・・・

二酸化炭素、フロンなどの温室効果ガスの排出によって地球が暖められ、自然現象や生物に大きな影響を及ぼすと言われています。

現在、地球の温暖化が急速に進行しています。このまま温暖化が進んでいくと100年後には、気温が2度上昇し海面が50cm上昇し、高潮被害を受けやすい人口が現在の2倍の1億人になります。

・熱帯、亜熱帯の貧困地域で食糧生産が減少し、飢饉、難民が増加するおそれがあります。

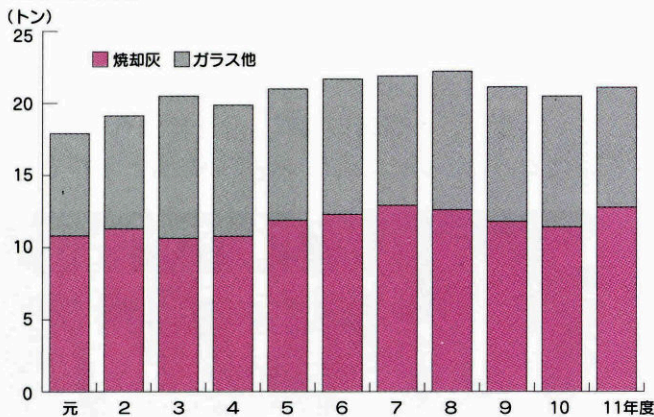
・洪水、干ばつが激しくなり、台風、ハリケーンの発生が増えるおそれがあります。

・熱帯性の伝染病(マラリアなど)が広がるなど健康への悪影響のおそれがあります。

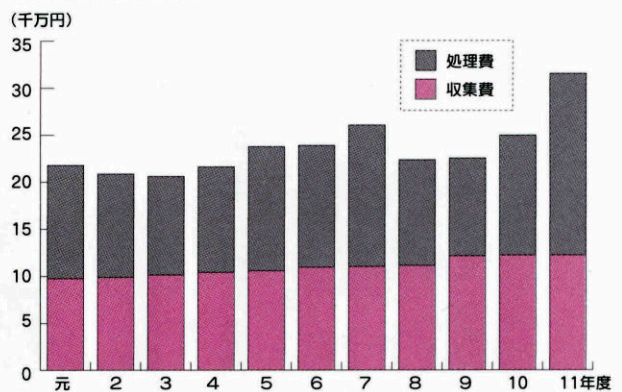
(ミ等)を回収した残り(ガラス、陶磁器等)が最終的に埋め立てられることとなります。総埋立量については横這いの状態ですが、平成11年度では1年間に1世帯当たり約250kgのゴミを埋め立てていることになり、埋立量が多量となっています。また、埋立ゴミの自身は、平成11年度では焼却灰が1、277トン、ガラス類が833トンとなっています。4月から分別することで、このうちのガラス類の約1/2が減量できるのではないかと思います。それによって、松江市の埋立処分場への運搬量を大きく減らすことができます。

まず、埋立処分量を減らすことが第一です。「気にかかけましょうゴミの行方」

■埋立量の推移



■ゴミ処理経費の推移



ゴミ

を処理するためには、たくさんのお金が掛かります。経費の中心は大きく分けて収集のためのもの(収集経費)と処理のためのもの(処理経費)の2つがあります。収集経費については、微増にとどまっていますが、処理経費については、ここ3年間で約5割も増加しています。平成11年度では3億2千万円で市民1人当たり1年間に約1万3千円かかっている計算になります。大きな理由として、県外へ埋立ゴミを運搬する経費が必要になったこと、そして、ダイオキシンなど公害防止対策や焼却炉の老朽化による修繕等に多額の経費がかかるためです。焼却炉を長持ちさせるためにもゴミの減量は必要なのです。「あなたが作るゴミプラン」

地球環境にも関わる
ゴミ処理



今、温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨など地球環境問題が地球各国の共通課題になっていきます。ゴミ処理も無関係ではなく、ゴミ処理から出る二酸化炭素、フロンガスなどの温室効果ガスの削減も求められており、そのためにはゴミの分別、リサイクルを進め、焼却量の削減や生産エネルギーの低減による二酸化炭素の削減などが大きな流れとなっています。

できることから始めよう



温暖化などの地球環境問題は、日頃の生活では実感がない人が多いのが現実ですが、私達の日常生活や生産消費活動に大きく関係しています。

ゴミ処理もその一つで、分別、リサイクルを進め、埋立量、焼却量を減らすことが地域の生活環境や自然環境ひいては地球環境を守ることに繋がります。

ゴミの減量、分別は、あなたの家庭や事業所でちょっとした気遣いで始められます。できることから始められることが、今求められています。

青い海と緑を子供たちに引き継ぐため

に・・・